



2月号

横浜市立中田小学校

学校だより

第469号



中田小

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

令和2年1月31日

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



よいところみつけ

副校長 鎌田 健二郎

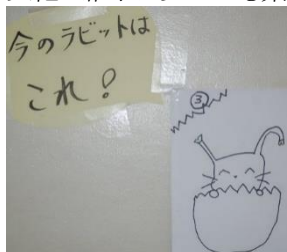
今年度の1月号は昨年未の発行でしたので、年明け初めての学校便りとなります。保護者地域の皆様とともに令和初めての年明けを迎えられたことをともに寿ぎたいと思います。

さて、元日のこと。私は公務意欲半分・私的興味半分で元日の学校から見た富士山の様子を写真に収めようと、午後から中田小学校に出向きました。しかし、上空は晴れているものの、残念ながら西の空は曇っていて富士山は見えませんでした。子ども達やご家庭からの年賀状が早々に届いていたので分けたりしながら、富士山が見えるようになっていないか何度か渡り廊下まで確かめに行ったのですが、なかなか姿を現しませんでした。そうこうしているうちにあつという間に日の入りの刻限になってしまいました。日も暮れるし、もうこれで最後と思って見に行ったら、奇跡的に（個人の感想ですが）西の空に富士山が姿を現していました。慌てて、職員室に戻り鍵とカメラを持って第2校舎屋上に向かいました。そうしましたら、これまた奇跡的に（あくまでも個人の感想ですが）令和2年初めての日の入りと富士山が西の地平線にちょうど並んでいるところでした。大慌てで繰り返しシャッターを切りました。今回はモノクロで、しかも印刷の関係上富士山の写真しかお届けできませんが、初日の入りと富士山が並び、西の空が茜色に染まる美しき様子を学校ホームページの1月1日付の記事として掲載していますので、よろしければご覧ください。



令和2年は静かな年明けとなりましたが、学校は始まってすぐに賑わいを見せていました。というのも、例年お越しいただいている中田囃子の皆様、1月8日に3年生のために鑑賞会を開いてくださっていたからです。冷たい雨の降る中でしたが東中田小学校、葛野小学校の3年生も本校体育館に集まり、お囃子の音楽や獅子舞やおかめや火吹男（ひよっこ）のお面をかぶった踊りを鑑賞しました。鑑賞した後は、中田囃子の特徴や楽器や衣装などについて分かりやすく説明してくださいました。地域に根付く伝統芸能に対する興味や関心が高まったことと思います。

この鑑賞会を受けて、本校の3年生は各クラスでお囃子のリズムを実際に太鼓で叩いたり、旋律を自分でつくったり、お面をつけて踊ったりして自分達のお囃子づくりを楽しみました。片鱗に触れた程度ではありますが、昔から地域に続く伝統的な文化の継承に少しでも繋げられればと思います。中田囃子の皆様ありがとうございました。



一方、中田小学校の職員室前の廊下の壁面では、現在、ある「生き物」が成長中です。その「生き物」とは、本校児童会のマスコット「あいさつラビット」です。

児童会のテーマ「気持ちのよい言葉と行動 中田っ子」を受けて、児童運営委員会で昨年度実施した「よいことの木」について、昨年9月に話し合いをもちました。昨年度は、自分が見つけた友達のよいところを記入した桜の花びらの形をしたカードを事前に大きな桜の幹を描いておいた台紙に貼り付けていく、というものでした。昨年度は低学年を中心にたくさんの児童が参加してくれたので今年も続けてやったほうがよいということになりました。しかし、今年はやり方をアレンジした方がよいということで、桜を銀杏の木にする、書かれていたことを劇にする、昨年は全校で一本だった「木」を学年ごとにする等々いろいろアイデアが出ました。そこで採用されたアイデアが、カードが増えるごとに「あいさつラビット」が成長していく、というものでした。話し合いを重ね、カードが100枚増えていくごとに卵にひびが入り、卵が割れ、「あいさつラビット」が誕生して大きくなり、なんとドラクエ風に敵を倒して成長するというストーリー仕立ての方法がとられ昨年未から取組が始まったのです。

「ともだちのよいところをたくさんみつけよう！」という呼びかけに対し、「〇〇さんが休みの人の机をさげていた。」「マラソン大会でみんな応援してくれた。」「自分が元気がない時に友達が励ましてくれた。」等々のカードが1月末までに300枚近く集まってきて、「あいさつラビット」が卵から飛び出すまであと一歩になっています。

人のよいところを見つけるということは、すなわち人を認めるということ、お互いに認め合うということであると思います。これまでも本校では人権教育に関する取組を続けてきましたが、この「お互いを認め合う」ということこそ基本的人権の尊重の根幹となるのではないのでしょうか。些細なことでもいい、お互いを「見つめる」ことから「認める」につなげ、お互いを思い合う関係をこれからもどんどん築いていってほしいと思います。

友達への優しいメッセージと「あいさつラビット」の笑顔あふれる中田小学校になるよう、これからも支援を続けていきたいと思っています。どうぞ、本年も本校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

お詫び

1月17日付で「令和元年度さわやか大運動会 アンケート集計報告及び改善について」を保護者の皆様に配付いたしました。その中に、『三脚・脚立の使用、撮影のために台の上に乗ること』の一切の禁止をお知らせに明記し、徹底されるよう協力を呼びかけていきます。という記述がございます。今年度徹底できなかったのは、学校からのお知らせの表記があいまいだったことと、一切禁止であることを職員間で徹底できなかったために職員によって対応が異なってしまったことが原因です。そのため、一切禁止ということが伝わらず、一部の保護者の方に不快な思いをおかけする結果となりましたこと、ここにお詫び申し上げます。来年度も安全に参観していただくために三脚・脚立の使用を禁止とさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

校長 中村真弓

